

# 総合型地域スポーツクラブの 自立・自律に向けたチェックリスト

## 《 自己評価・点検用ツール 》

— *Version 1.0* —

平成25年10月21日

# 目 次

はじめに	P.1
《本ツールの使い方》	P.2
I. クラブ理念の策定・検証 (STEP1・2)	P.3
II. 現状のチェック (STEP3)	P.5
<b>地域の実情把握のための各種調査の実施</b>	P.6
地域住民の理解・把握(新規会員・参加者の確保)	P.6
会員・参加者の理解・把握(会員・参加者の定着)	P.7
活動拠点の確保	P.8
他団体等との連携体制の確立	P.9
コミュニケーション戦略の立案	P.10
<b>住民が参画する運営体制の整備</b>	P.11
地域住民のクラブ運営への参画促進	P.11
クラブ運営スタッフの参画のあり方	P.12
機能的分業体制の確立	P.13
運営スタッフの育成・世代交代に係る体制整備	P.13
専従スタッフの確保	P.13
法人格の取得	P.14
<b>安定的な活動拠点の確保</b>	P.15
<安定的に利用できる施設の確保>	P.15
各種活動施設の確保	P.15
施設利用に係る取り扱い	P.15
<クラブハウス機能の確保>	P.16
クラブ専用スペースの確保	P.16

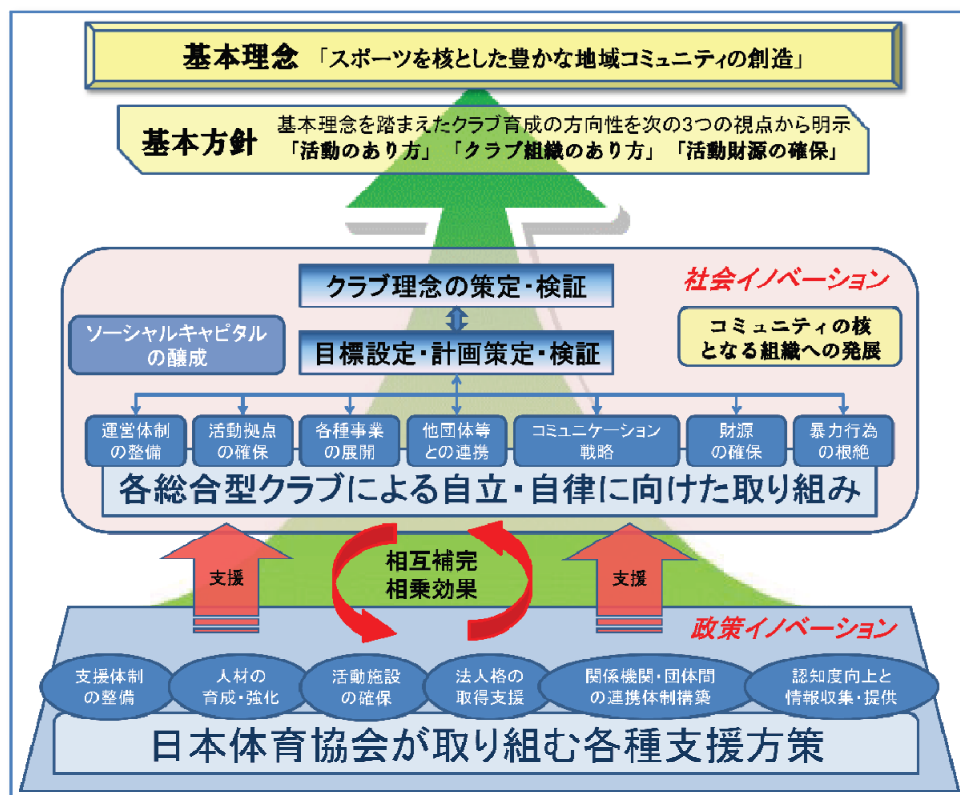
<b>地域に根差した事業の展開</b>	P.17
<b>&lt;安全管理体制の確立&gt;</b>	P.17
安全面に配慮した事業の実施	P.17
緊急時連絡体制の整備	P.17
<b>&lt;基本的スポーツ事業&gt;</b>	P.18
クラブサービス事業の実施	P.18
プログラムサービス事業の実施	P.18
エリアサービス事業の実施	P.19
イベント観戦サービス事業の実施	P.19
<b>&lt;関連的スポーツ事業&gt;</b>	P.20
情報サービス事業の実施	P.20
指導者研修事業の実施	P.20
顕彰・表彰・制度的評価事業の実施	P.21
経済的支援事業の実施	P.21
施設・設備・用具管理事業の実施	P.21
<b>&lt;交流事業&gt;</b>	P.22
会員(参加者)交流事業の実施	P.22
地域交流事業の実施	P.22
<b>地域との相互扶助を築く他団体等との連携</b>	P.23
既存のスポーツ少年団及び地域スポーツクラブ等多様なスポーツ組織との連携	P.23
行政・教育機関との連携	P.23
民間団体(自治会、企業等)との連携	P.24
研究機関(大学等)との連携	P.24
<b>地域とクラブをつなぐコミュニケーション戦略</b>	P.25
各種媒体によるコミュニケーション戦略の策定(事前準備)	P.25
各種媒体によるコミュニケーション戦略の実行	P.25
講演・説明・面談によるコミュニケーション活動の実施	P.26
<b>安定的で持続可能な財源の確保</b>	P.27
事業収入等による収益確保	P.27
適切なクラブ会費及び参加料の設定	P.28
適切な支出のあり方	P.29
協賛金・寄附金等の獲得	P.29
<b>総合型クラブの活動現場における暴力行為の根絶</b>	P.30
自己点検・評価の結果	P.31
<b>Ⅲ. 目標の設定 (STEP4)</b>	P.33

# はじめに

「総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）」は、生涯にわたってスポーツに親しめる環境を全国の身近な地域に整えるとともに、「住民主体」によって運営されるシステムを目指しています。この総合型クラブは、「住民主体」によって地域スポーツの推進を図ろうとする新たな試みであり、運営に係る地域住民の主体的な参画を通じて、公正で福祉豊かな地域社会を構築するためにも重要な意義を有するものです。

本会では、これまでに寄せられた総合型クラブ関係者の意見、各種の調査結果や現状における緊急度の高い課題等を踏まえ、目指すべき総合型クラブ育成の方向性を検討した上で、今後概ね5年を目途とする取り組みについて整理し、「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」（以下「育成プラン2013」という。）として取りまとめました。

（下記「イメージ図」参照）



「育成プラン2013」では、総合型クラブ育成の基本理念として、遍（あまね）く人々が差別なくスポーツの恩恵に浴するとともに、住民の連携・協働によって支えられる総合型クラブが地域の絆を培い、地域社会の発展に寄与していくという「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を新たに提示しました。

また、総合型クラブが地域に根差し、誰からも愛されるクラブとなり自立・自律するに至るためには、当該地域の風土・文化・人口・経済事情等に適合し定着・浸透することと併せ、安定的に運営されることが必要です。

このことから、総合型クラブとして自立・自律するために必要な事項を抽出・集約し、各クラブが現状を検証するための自己評価・点検を行い、将来的な計画を立案する際の一助となるよう本ツールを作成しました。

総合型クラブは各々の地域の実情に合わせ、様々な特色を有していますので、必ずしも本ツールで提示した項目すべてに対応する必要はありませんが、各クラブの運営における指針としてお役立て下さい。

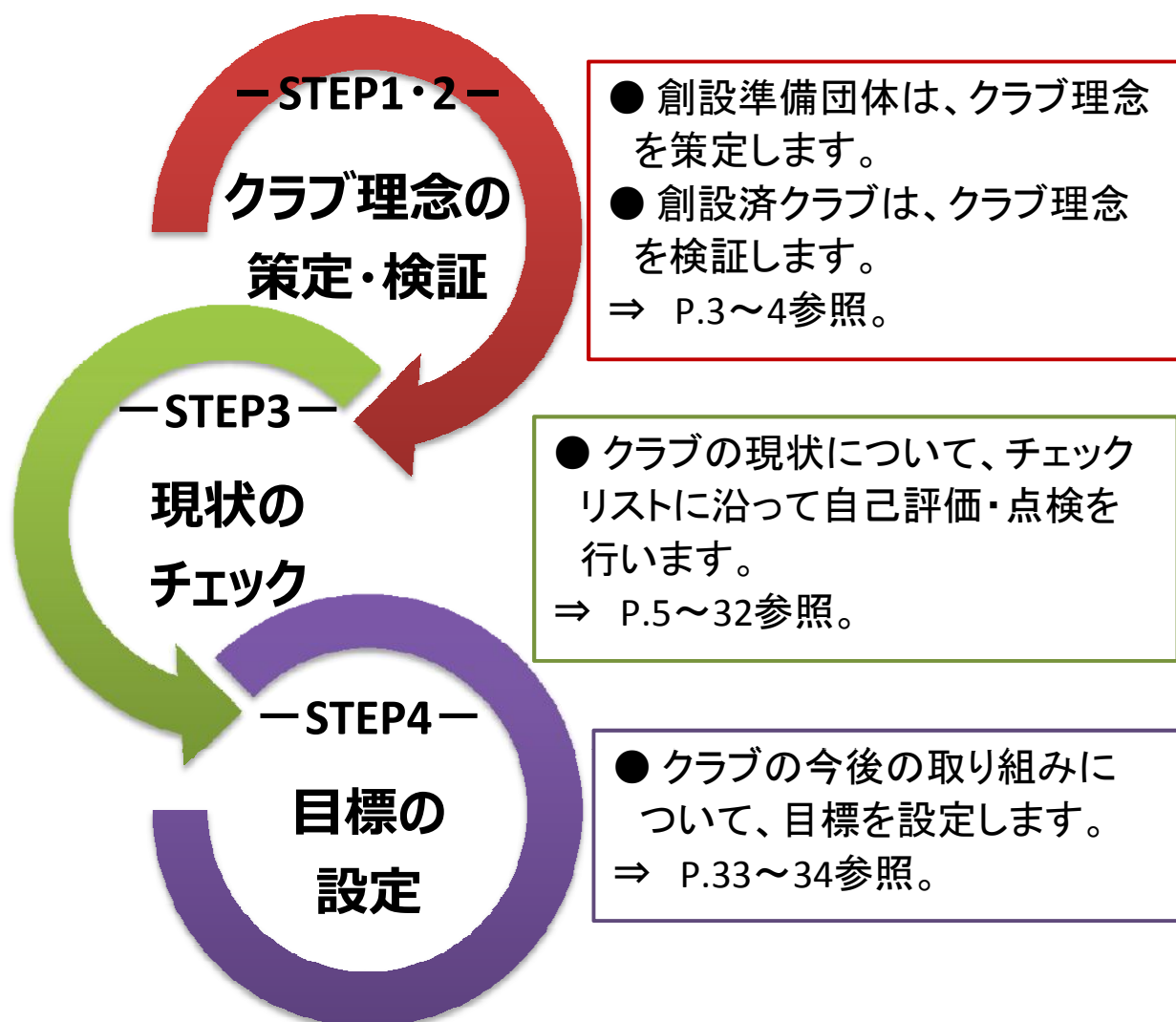
各クラブにおいてはこのツールの内容を踏まえ、現状を検証するとともに、常に計画的な運営を図ることが望まれます。また、本ツールの内容は、今後、定期的に検証の上、改善していきますので、ご意見・ご要望があれば【sc-info@japan-sports.or.jp】までご連絡ください。

なお、本ツールの中で示したクラブマネジメントに関する知識について、より深く体得し、クラブの管理・運営に生かしたい方は、日本体育協会公認「クラブマネージャー資格」の取得をお勧めします。ぜひご検討ください。

※ 参考URL <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/221/Default.aspx>

## 《 本ツールの使い方 》

本ツールは、以下の手順によって自己評価・点検を行い、将来的な目標を設定します。



### 【理念の策定・検証】

総合型クラブ育成の基本理念である「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」の趣旨を、全国の総合型クラブ関係者の間で共有するとともに、各クラブにおいてはこの基本理念の趣旨に基づいたクラブ理念を策定・検証することにより、我が国における総合型クラブ育成が一体的かつ総合的に行われることとなります。

### 【現状のチェック】

本チェックリストP.6～30のチェックリストを用いて自己評価・点検を行い、クラブの現状を総体的に確認・把握します。

### 【目標の設定】

各クラブが掲げるクラブ理念(創設の目的・意義)の実現に向け、自立・自律した総合型クラブとなるよう、クラブの現状を踏まえ、将来的な到達点(長期・中期・短期・年次)を明確にした目標を設定します。

以上の作業を経て、今後の取り組み目標を設定した後は、次の「PDCAサイクル」によって取り組むことが重要です。

- ①各クラブ内で目標の達成に向けた具体的な取り組み計画を策定する
- ②計画に基づく活動を実行し、その内容及び効果を定期的に検証する
- ③検証結果を踏まえて、改善を図る
- ④上記①～③を定期的・継続的に行い、クラブを発展させる

# I. クラブ理念の策定・検証

「クラブ理念」とは、地域におけるクラブの存在意義、果たすべき役割・機能等の総合型クラブ運営の根幹となる考えです。クラブ創設の意義や目的を明確にするため、地域の実情を踏まえ、クラブ単位での理念(クラブ理念)を定めることが重要です。

また、本会が新たに掲げた右記の基本理念の趣旨を総合型クラブ関係者が共有することにより、我が国における総合型クラブ育成が一体的かつ総合的に行われることとなります。

これらのことを踏まえ、下記のチェックリストの観点に留意しながら、創設準備団体においてはクラブ理念を策定しましょう。創設済クラブにおいては、今一度、クラブ理念を検証してみましょう。



## STEP1 クラブ理念の策定・検証に係るチェック

### 【クラブ理念の策定・検証に係るチェック】

貴クラブのクラブ理念を策定あるいは検証するにあたって、次の観点を踏まえているかチェックしましょう。下記1～4の選択肢より当てはまる番号数字を、チェック欄に記入してください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応している                                 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
1. 意識していなかった/取り組んでいなかった                 / 該当しない

No.	チェックの観点	チェック欄
1	<b>【基本理念の理解】</b> 日体協の「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」という基本理念の趣旨を、運営スタッフ(理事、運営委員、指導者、その他運営に携わるすべての関係者等)が理解していますか	
2	<b>【地域の※<sup>1</sup>スポーツ環境に係るニーズの反映】</b> 地域のスポーツ環境に係る住民のニーズを※ <sup>2</sup> 把握し、クラブ理念に反映していますか	
3	<b>【地域のスポーツ環境の諸課題・問題の解決】</b> 地域におけるスポーツ環境の諸課題・問題(スポーツ実践の機会不足、施設不足等)を把握した上で、それらの解決につながるようなクラブ理念となっていますか	
4	<b>【地域社会の諸課題・問題の解決】</b> 地域社会における諸課題・問題(コミュニティの希薄化、少子高齢化・過疎化による影響等)を把握した上で、それらの解決につながるようなクラブ理念となっていますか	
5	<b>【総合型クラブが担う役割・機能の把握】</b> 地域のスポーツ推進及びコミュニティ発展において、総合型クラブが担える役割・機能を吟味していますか	
6	<b>【地域コミュニティの充実・発展】</b> クラブの活動を通して、地域コミュニティが充実・発展するようなクラブ理念となっていますか	
7	<b>【クラブ理念策定(検証)の手続き】</b> クラブ理念の策定(検証)にあたり、広くクラブ関係者(運営スタッフ、会員等)の理解と同意を得て策定(検証)している	

※1「スポーツ環境」: スポーツを「する」「みる」「ささえる」ために必要となる、スポーツに関するあらゆる環境全般  
例. 指導内容、プログラム内容等のソフト面、施設・用具、条例・制度等のハード面、他

※2「把握」: 自治体発行の統計的調査結果や、アンケート調査結果等による客観的な数値等の把握



## STEP2 クラブ理念の策定・検証

### 【貴クラブの理念】

STEP1を踏まえ、貴クラブにおけるクラブ理念を策定・検証し、下記枠内に記入しましょう。

--

# I. クラブ理念の策定・検証

## ＜参考＞ 総合型地域スポーツクラブ育成の基本理念

### 【総合型地域スポーツクラブ育成の基本理念】

今後、本会が推進する総合型クラブ育成の基本的な方向性としては、これまで以上に、地域住民の多様なニーズを包含し、多様な活動が可能となる地域に密着したスポーツクラブを普及・定着させ、現状の「違い（隔たり）」を克服して、身近にスポーツ文化を豊かに享受できる環境を整えることが求められる。

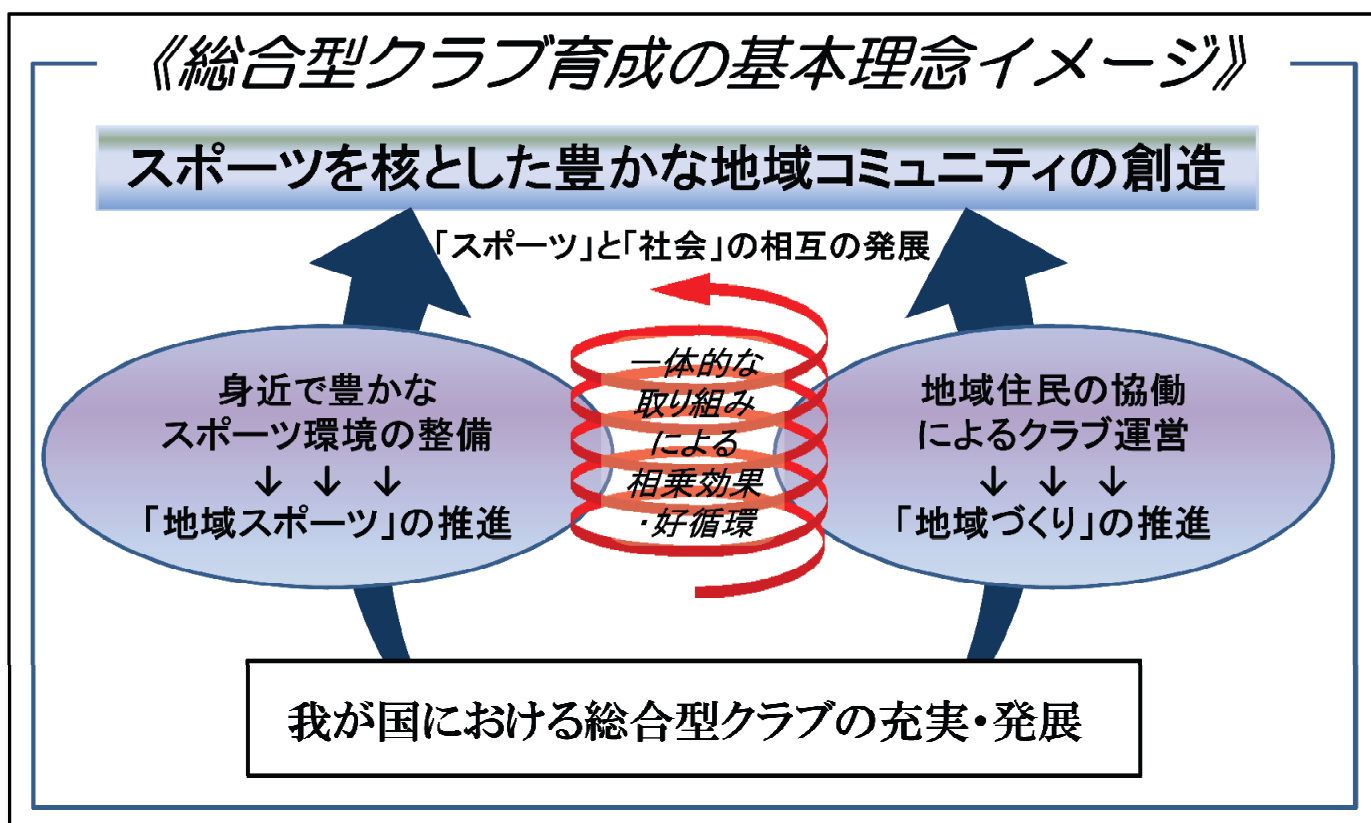
さらに、住民の自発的、主体的、自治的なスポーツの推進と地域づくりの機能を有する総合型クラブの創設・維持・発展・拡充に向けた育成・支援を通して、スポーツによる「※1ソーシャル・ガバナンス」体制の構築を目指した地域社会の発展に貢献することを認識する必要がある。

このことから、本会が推進するこれからの総合型クラブ育成をめぐっては、国民の一人ひとりが主体的にスポーツ文化を豊かに享受する場を各地域に創出・提供し、遍（あまね）く人々が差別なくスポーツの恩恵に浴するとともに、住民の連携・協働によって地域の絆を培い、地域社会の発展に寄与していくという「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を基本理念として新たに提示することとした。

この新たな基本理念を念頭においた取り組みは、「スポーツの推進」と「地域づくり」において相乗効果・好循環を生じさせ、スポーツそのものの価値や意義をさらに高めるための大きな役割を果たすことが期待できる。

本会をはじめとする総合型クラブ育成に関わる者は、この新たな基本理念の実現に向けて、総合型クラブ育成に係る具体的な方策・施策の企画・立案を行うとともに、事業の推進に積極的に取り組むことが求められる。  
(「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」より抜粋)

※1「ソーシャル・ガバナンス」：地域社会の様々な問題に関して、公的機関と住民組織や民間団体などが協働することによって問題の解決に向かう社会的な装置あるいはメカニズム。



## II. 現状のチェック

自立・自律した総合型クラブに至るためには、クラブ理念を踏まえ、将来的な到達点を明確にした目標を設定し、その達成に向けた具体的な取り組み計画を策定することが重要です。

この目標設定、計画策定にあたっては、地域の実情とクラブの現状を踏まえ、現実的に実行可能となるように設定することが必要です。

このことから、次ページ以降のチェックリストの各項目に沿って、地域とクラブの現状を確認・把握しましょう。



### STEP3 地域とクラブの現状チェック

次ページから30ページまでのチェックリストの各項目について、下記の選択肢番号の当てはまる数字をチェック欄に記入します。

※「安定的な活動拠点の確保」の項目のみ選択肢が異なります。

#### 【選択肢】

#### 3. すでに実施し、対応する体制がある

⇒ すでに一度は取り組みを行い、対応するために必要なクラブ体制を整えている

#### 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である

⇒ すでに取り組んでいるものの、必要なクラブ体制の整備等、対応完了までには至っていない

#### 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった(未対応)

⇒ 取り組みを意識していなかった、または認識していたものの、未対応である

#### ／ 該当しない

⇒ 我々のクラブの特性上、対応が不要な内容であり、該当しない項目である

以上のチェック作業が終わると、P.31～32の「現状の点検・評価結果」シートに、自動で集計された数値が反映(※)されます。

次のSTEP4では、その「現状の点検・評価結果」の内容を踏まえ、今後の目標を策定していきます。

※ P.31～32「現状の点検・評価結果」シートに、自動集計した数値を表示させるためには、P.6～30の各「チェック欄」への入力作業が必要です。

※ 手動で計算する場合は、次の手順により達成率を算出します。

① 選択肢を次の通り数値化 「3」=1ポイント、「2」=0.5ポイント、「1」=0ポイント、「／」=計算対象外

② ①で換算したポイントの合計を選択肢の項目数(「／」の項目は除く)で割ります。

例. チェック内容が全部で11項目あり、その回答として、「3」を5つ、「2」を3つ、「1」を2つ、「／」を1つ選択した場合

$[(5 \times 1) + (3 \times 0.5) + (2 \times 0)] \div 10 = 0.65$  と計算し、達成率 = 65%と算出します。



## Ⅱ. 現状のチェック

### — 地域の実情把握のための各種調査の実施 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある  
1. 意識していなかった/取り組んでいなかった / 該当しない
2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
/ 該当しない

#### 【地域住民の理解・把握(新規会員・参加者の確保)】

※この調査項目は、「運営体制の整備」「事業の展開」「コミュニケーション戦略」の各目標・計画の立案に役立てられます。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【スポーツ実施率の現状把握】</b> 地域のスポーツ実施率の詳細(人数、頻度・量・強度、種目、世代、志向等)を把握していますか	
2	<b>【人口構成の把握】</b> 地域の人口構成(年齢・世代別、男女別、就業別)を把握していますか	
3	<b>【活動状況の把握(推測)】</b> 地域の人口構成別に、その「生活背景・自由な時間に何をしているか等」について把握または推測していますか	
4	<b>【スポーツ阻害要因の把握(推測)】</b> 地域住民において、スポーツができない・続けられない原因を把握あるいは推測していますか	
5	<b>【スポーツ阻害要因の解消方法の把握(推測)】</b> スポーツができない・続けられない原因について、原因別の解消方法を把握または推測していますか ※例、地域住民の生活サイクルに沿った適切な実施時間の設定、ニーズに合ったプログラム内容、託児機能等	
6	<b>【顕在的なニーズの把握】</b> クラブが対応できるような「地域住民が『こんなことが欲しい』と思っていること」を把握していますか	
7	<b>【潜在的なニーズの把握(推測)】</b> クラブが対応できるような「地域住民も気づいていないが、あったら嬉しい」ことを把握または推測していますか	
8	<b>【ニーズ反映の把握】</b> 事業の実施内容に、上記の地域住民の「『こんなことをして欲しい』または、あったら嬉しいこと(地域課題の解決)」のニーズ内容が活かされているか把握していますか	
9	<b>【クラブへの信頼感・親近感の把握】</b> 地域の住民、自治会、行政、教育機関、企業等から信頼感・親近感を得られているか把握していますか	
10	<b>【見学・体験・参加しやすさの把握】</b> 地域住民が「いつでも、誰でも、気軽に見学・体験・参加しやすい」と感じているか把握していますか	
11	<b>【アクセスしやすさの把握】</b> 地域住民が「いつでも、誰でも、豊富なアクセス手段(電話、FAX、インターネット、等)で見学・体験・参加が申し込める」と感じているか把握していますか	
12	<b>【見学・体験しやすさの把握】</b> 地域住民が「見学・体験に気軽に訪問でき、事業内容の丁寧な説明・解説を受けられる」と感じているか把握していますか	

## II. 現状のチェック

### — 地域の実情把握のための各種調査の実施 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある                      2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
1. 意識していなかった／取り組んでいなかった                      / 該当しない

#### 【会員・参加者の理解・把握(会員・参加者の定着)】

※ この調査項目は、「運営体制の整備」「事業の展開」「コミュニケーション戦略」の各目標・計画の立案に役立てられます。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【クラブ理念に対する理解・認識の把握】</b> クラブ理念が会員・参加者に正しく理解・認識され、賛成・共感を得られているか把握していますか	
2	<b>【クラブに対する評価の把握】</b> 会員・参加者のクラブに対する評価(良い点・悪い点)を定期的に調査し、その内容を分析していますか	
3	<b>【クラブに求められている改善内容の把握】</b> 会員・参加者が求めているクラブの改善内容・方法を把握していますか	
4	<b>【顕在的なニーズの把握】</b> 現在の教室・イベント等の各種事業に対して、会員・参加者が「こんなことをして欲しい」と思っている内容を把握していますか	
5	<b>【潜在的なニーズの把握(推測)】</b> 現在の教室・イベント等の各種事業に対して、会員・参加者が「気づいていないが、あったら嬉しい」ことを把握または推測していますか	
6	<b>【十分な説明ができているかの把握】</b> 会員・参加者が「クラブに対する意見・要望、クレーム等に対して、クラブから丁寧な回答・説明を受けている」と感じているか把握していますか	
7	<b>【フォロー充実度の把握】</b> 会員・参加者が「今後も継続的にクラブへ参加したいと思うようなフォローを受けている」と感じているか把握していますか *フォローの例、他の会員・参加者との交流を促す、積極的に指導者が声を掛ける、困っている点を手助けする等	
8	<b>【クラブ運営に対する自覚の把握】</b> 会員・参加者が、クラブに愛着を持ち、積極的にクラブ運営に加わる等、クラブの一員としての自覚を持っているか把握していますか	
9	<b>【会員・参加者離れの原因追求】</b> 会員・参加者が、クラブに参加しなくなった場合、あるいは疎遠になった場合、その原因を把握していますか	

## II. 現状のチェック

### — 地域の実情把握のための各種調査の実施 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった / 該当しない  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である / 該当しない

#### 【活動拠点の確保】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【スポーツ施設の把握】</b> 地域のスポーツ施設の <b>数、種類</b> (屋外/屋内)、 <b>サイズ、利用方法</b> (半面・全面、利用時間、手続き、料金等)、 <b>付属設備</b> (用具、ナイター照明等)、 <b>その他</b> について <b>詳細情報</b> を把握していますか	
2	<b>【スポーツ施設利用状況の把握】</b> 地域のスポーツ施設の利用状況( <b>最頻利用時間帯、定期利用している団体の有無、イベント利用、大会利用、その他</b> )について、 <b>詳細情報</b> を把握していますか	
3	<b>【学校施設の把握】</b> 地域の <b>学校施設の数、種類</b> (屋外/屋内)、 <b>サイズ、利用方法</b> (半面・全面、利用時間、手続き、料金等)・ <b>付属設備</b> (用具、ナイター照明等)、 <b>その他</b> について <b>詳細情報</b> を把握していますか	
4	<b>【学校施設の利用状況の把握】</b> 地域の <b>学校施設の開放状況</b> 、並びにその <b>利用状況</b> ( <b>最頻利用時間帯、定期利用している団体の有無、部活動利用、学校行事利用、大会利用、その他</b> )について <b>詳細情報</b> を把握していますか	
5	<b>【公民館・社会教育施設の把握】</b> スポーツ等の利用も可能な地域の <b>公民館・社会教育施設の数・種類</b> (屋外/屋内)、 <b>サイズ、利用方法</b> (半面・全面、利用時間、手続き、料金等)、 <b>付属設備、その他</b> について <b>詳細情報</b> を把握していますか	
6	<b>【公民館・社会教育施設の利用状況の把握】</b> スポーツ等の利用も可能な地域の <b>公民館・社会教育施設の利用状況</b> ( <b>最頻利用時間帯、定期利用している団体の有無、イベント利用、地域行事利用、その他</b> )について、 <b>詳細情報</b> を把握していますか	
7	<b>【自然環境・公共空間の把握】</b> 広く開放されている <b>林道・山道や河川・湖沼・海等の自然環境</b> や、その他 <b>クラブ活動に利用できる地域の公共空間</b> について、把握していますか	
8	<b>【自然環境・公共空間の利用状況及びびールの把握】</b> <b>林道・山道や河川・湖沼・海等の自然環境</b> や、その他 <b>クラブ活動に利用できる地域の公共空間</b> について、その <b>利用状況</b> ( <b>最頻利用時間帯、定期利用している団体の有無、イベント利用、地域行事利用、その他</b> )及び <b>使用に係るルール</b> (占有使用のルール)等について、 <b>詳細情報</b> を把握していますか	
9	<b>【その他施設の把握】</b> 学校の <b>空き教室、廃校となった学校施設、未開放の学校施設等</b> 、 <b>現在は一般に開放していない施設・スペース</b> 等について把握していますか	
10	<b>【その他施設の探索】</b> 上記施設の他、 <b>代替利用できるような場所・施設</b> ( <b>空き地、商店街の空き店舗、空き倉庫、河川敷等</b> )について、常に <b>情報収集</b> を行っていますか	
11	<b>【施設の優先利用ルールの把握】</b> 地域における <b>施設の優先利用に関する条例、制度(ルール)</b> 等を把握していますか	
12	<b>【施設の優先利用に係る比較調査】</b> <b>他団体・組織が優先的に地域の施設を利用している場合</b> 、 <b>当該団体・組織とクラブとの違いを比較し、その理由・原因</b> を把握していますか	

## II. 現状のチェック

### — 地域の実情把握のための各種調査の実施 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢]    3. すでに実施し、対応する体制がある                      2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
                   1. 意識していなかった／取り組んでいなかった            /    該当しない

#### 【他団体等との連携体制の確立】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【自分達のクラブの把握】</b> 自分たちのクラブが、地域でどのような理念・目的を掲げ、どのような役割と機能を果たし、何を行っているか、あるいは何が行えていないか、どのような強み・弱みを有しているかについて把握していますか	
2	<b>【他団体の把握】</b> 地域内にどのような団体があり、何の目的で、何を行っているか、あるいは何を行おうとしているか、どのような強み・弱みを有しているかを把握していますか	
3	<b>【他団体との連携可能性の把握】</b> クラブ理念(目的等)と合致、あるいは同様の方向性を掲げている他団体を把握していますか	
4	<b>【他団体とのwin-win関係構築の検証】</b> クラブと他団体との間において、クラブの強みが他団体の弱みを補い、他団体の強みがクラブの弱みを補うような、両者が補い合う関係を築くことができるか検証していますか	
5	<b>【他団体に提供できる自分達のクラブ資源の把握】</b> 自分たちのクラブが提供できる資源(ソフト・ハード等)を把握していますか	
6	<b>【他団体が保有している資源の把握】</b> 自分たちのクラブに不足している資源について、どのような他団体が保有しているか把握していますか	
7	<b>【他団体とのアクセス方法の把握】</b> 他団体同士が集う機会や、あるいは他団体と直接連絡を取るないし接触を図る方法を把握していますか	

## II. 現状のチェック

### ― 地域の実情把握のための各種調査の実施 ―

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢]    3. すでに実施し、対応する体制がある                                 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
                 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった                         / 該当しない

#### 【※<sup>1</sup>コミュニケーション戦略の立案】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【認知度の把握】</b> 地域における総合型クラブ全般及び自分たちのクラブの認知度について調査等により把握していますか	
2	<b>【認知内容の把握・分析】</b> 地域の住民、他団体、自治会、行政、教育機関、企業等が、クラブに対して抱いているイメージ・認識について把握・分析していますか	
3	<b>【認知されたいイメージと認知されているイメージの比較検証】</b> 認知して欲しい内容・イメージと実際に認知されている内容・イメージとの相違(ギャップ)について、その原因を分析・検証していますか	
4	<b>【利用可能な媒体の把握】</b> 地域において利用できる広報媒体の詳細(種類・数・露出機会の頻度・露出サイズ・露出時間帯・利用手続き方法等)を把握していますか * 広報媒体の例. TV、ラジオ、インターネット等の電子媒体 / 新聞、チラシ、回覧板、行政広報誌等の紙媒体	
5	<b>【効果的・効率的な広報活動】</b> 広報対象者の年代別、生活背景別等を踏まえた最も効果的な広報媒体・方法を把握していますか * 例. 高齢者は回覧板や医者からの紹介、小中学生は学校内のポスター掲示や教室でのチラシ配布等	
6	<b>【地域における広告効果の検証】</b> 地域の住民、自治会、行政、教育機関、企業等に対して、定期的(年に1回程度)に、クラブに対するイメージ・認識(存在の認知、理念、事業内容等)及び親近感を調査し、広報活動の効果を検証していますか	
7	<b>【新規会員・参加者に対する広報効果の検証】</b> 新規会員・参加者が初参加する際、クラブに対するイメージ・認識(理念・実施事業等)及び親近感を調査し、広報活動の効果を検証していますか	
8	<b>【広報手段・内容の検証】</b> クラブを認知している方々を対象に、どのような手段でクラブの存在や事業内容等を認知し、どのような内容が興味・関心を抱いたかを調査していますか * 手段の例. 新聞やチラシ等の紙媒体、TV・インターネット等の電子媒体参加、視察等による認知、その他 * 内容の例. 事業内容の魅力、活動目的(クラブ理念)への賛同、豊かな地域づくりへの参加、その他	
9	<b>【広報の成功要因の把握】</b> クラブの会員・参加者を対象にした調査において、どのような理由からクラブの事業に参加したかを把握していますか	
10	<b>【検証結果の整理・集約】</b> 広報活動について何がどのように良かったか、何がどのように良くなかったか、等を整理してまとめていますか * 整理の例. 「内容(記載内容、表現等)について」「手段(利用媒体等)について」「タイミングについて」等	

※<sup>1</sup>「コミュニケーション戦略」: クラブ自身やクラブの事業内容を、地域全般や特定の対象者に効率的かつ効果的に伝える(紹介・案内する)ための方策

## II. 現状のチェック

### — 住民が参画する運営体制の整備 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
 ／ 該当しない

#### 【地域住民のクラブ運営への<sup>※1</sup>参画促進】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【クラブ理念の浸透】</b> クラブ理念について、定期的あるいは機会あるごとに、会員・参加者、地域住民に周知していますか	
2	<b>【クラブライフの充足】</b> 会員・参加者、地域住民は、クラブでの各種活動を通して、自発的にスポーツを楽しみ、充実したクラブライフを過ごしていますか	
3	<b>【マイクラブの認識】</b> クラブに対する愛着「私の地域のクラブ(マイクラブ)」という認識を、 <sup>※2</sup> 運営スタッフ、会員・参加者も含めた全員が共有するようにしていますか	
4	<b>【自主運営の浸透】</b> クラブ運営は、会員・参加者の主体的・自主的な参画により行われることを、定期的あるいは機会あるごとに周知していますか	
5	<b>【課題・問題の共有】</b> クラブの課題や問題は、運営スタッフをはじめ、会員・参加者も共有していますか	
6	<b>【開かれたクラブ】</b> 地域の誰もが、いつでも、いつまでも参加したくなる広く開かれたクラブとなるよう、スタッフをはじめ、会員・参加者も意識していますか	
7	<b>【クラブの雰囲気】</b> 会員・参加者、運営スタッフ等、クラブに関わるすべての人が参加する交流・懇親の機会等が定期的であり、気楽で開放的な雰囲気をつくっていますか	
8	<b>【公正性】</b> クラブを運営していく上で、特定のメンバーに偏ることなく、また排他的にならず、メンバーの合意や了承を得た意思決定など、運営の公正性が確保されていますか	

※1「参画」:クラブの事業や体制などの計画立案、実行等に加わること

※2「運営スタッフ」:理事、運営委員、指導者、職員、その他運営に携わるすべての関係者等

## II. 現状のチェック

### — 住民が参画する運営体制の整備 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
 ／ 該当しない

#### 【クラブ運営スタッフの参画のあり方】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【クラブ理念の説明】</b> クラブ理念を、いつでも会員・参加者に対して説明できるよう、運営スタッフを育成・指導していますか	
2	<b>【自主運営の説明】</b> クラブの運営は会員・参加者の積極的な参画によって行われている趣旨や理由を、いつでも会員・参加者に対して説明できるよう、運営スタッフを育成・指導していますか	
3	<b>【マイクラブ意識の啓発】</b> 会員・参加者がクラブへの愛着「私の地域のクラブ(マイクラブ)」という意識が持てるよう、運営スタッフが常に意識して啓発していますか	
4	<b>【課題・問題の共有】</b> クラブの課題・問題を、会員・参加者が共有できるよう、運営スタッフ全員がその課題・問題を理解していますか	
5	<b>【クラブの開放性】</b> 運営スタッフは、地域に広く開かれたクラブとなるよう、常に意識していますか	
6	<b>【クラブの雰囲気】</b> 会員・参加者、運営スタッフ等、クラブに関わるすべての人が参加する交流・懇親の機会では、気楽で開放的な雰囲気になるよう運営スタッフ全員が常に意識していますか	
7	<b>【運営スタッフ編成の開放性】</b> 地域に広く開かれたクラブとなり、併せて様々な分野の課題・問題を解決できるよう、幅広い分野から運営スタッフを募っていますか	
8	<b>【運営スタッフの満足感／人間関係】</b> 運営スタッフ間のチームワークだけでなく、会員・参加者等との良好なコミュニケーションも図られている等、クラブ内の一体感や信頼関係を築いていますか	
9	<b>【運営スタッフの満足感／自己実現】</b> 運営スタッフは個々の適性や持ち味を活かして、自主的・積極的にクラブ運営に携わっており、業務遂行を通して高い充実感を得ていますか	
10	<b>【スタッフの満足感／評価】</b> 運営スタッフには、業務(役割)に応じた適正な評価を受ける機会があり、会員・参加者を含む全員から感謝・称賛される雰囲気がありますか	
11	<b>【運営スタッフの不満解消】</b> 定期的な調査により、運営スタッフの不満を解消するように努めていますか	

## II. 現状のチェック

### — 住民が参画する運営体制の整備 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった/取り組んでいなかった / 該当しない  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である

#### 【機能的分業体制の確立】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【業務の整理と役割分担】</b> クラブ内で運営に必要な業務を整理した上で、特定の人に偏らず、複数のスタッフで役割分担できるようにクラブ内の体制を整えていますか * 必要な機能の例. 事業の企画・立案、施設の確保、財務管理、連絡調整、渉外等	
2	<b>【会員の参画体制】</b> クラブの業務は、有償ボランティア・無償ボランティア・お手伝い会員等のメンバーもすべて巻き込んで分担・分業する体制が整えられていますか	
3	<b>【総括機能】</b> クラブの業務で分業した各内容を、全体的に統括し調整する体制が整えられていますか * 統括機能の例. 理事会や運営委員会等が定期的に各分業内容を調整している、他	
4	<b>【定期的な体制の検証】</b> 将来的な展望・ビジョンを踏まえ、クラブの成長度合いに応じた適切な分業体制となっているか、定期的に見直しを行っていますか	

#### 【運営スタッフの育成・世代交代に係る体制整備】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【人材の発掘・登用】</b> クラブ内における人材発掘・登用の体制や土壌が整えられ、参加者が最終的に運営スタッフとなっていく雰囲気がありますか * 例. 不定期的参加者 ⇒ 定期的参加者・会員 ⇒ 運営補助(運営ボランティア・お手伝い) ⇒ 運営スタッフ、等	
2	<b>【引き継ぎの準備】</b> 古参のクラブマネージャーが引退する前に、若手クラブマネージャーが複数人育成されていますか	
3	<b>【人材の還流/雰囲気醸成・体制整備】</b> 子どもたちが、幼児～中学・高校生まで継続して参加できる事業を実施し、クラブに対する親近感や愛着を育て、次世代のスタッフとなるような雰囲気づくりや体制の整備等を図っていますか	
4	<b>【人材の還流/心理的距離感】</b> 部活動、進学、就職等で、子どもたちがクラブから一時期疎遠になっても、定期的な連絡を取り合い、クラブに対する親近感や愛着を保ち、いつでも気兼ねなくクラブを訪れたり、戻ってこれることができるようにしていますか * 定期的な連絡の例. クラブの広報物を送付する、メールマガジンを配信する、単発事業に招待する等	
5	<b>【円滑なスタッフの入れ替え】</b> クラブ内の役割分担には必ず若手世代を参加させ、運営スタッフの入れ替えが生じる際には、円滑に入れ替わる体制を整えていますか	

#### 【専従スタッフの確保】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【内部からの人材獲得】</b> クラブマネジメントを希望したり、あるいは興味・関心のある会員等を養成・発掘・登用する体制を整えていますか	
2	<b>【外部からの人材獲得】</b> クラブマネジメントを希望したり、あるいは興味・関心のある人材を発掘するなど、人材の発掘に関するネットワーク・コネクションがありますか	
3	<b>【雇用経費の確保】</b> 時限的な助成金(toto助成金等)以外に、専従スタッフを雇用するための事業収益等の財源を安定的に確保していますか	



## II. 現状のチェック

### — 住民が参画する運営体制の整備 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある  
1. 意識していなかった／取り組んでいなかった
2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
／ 該当しない

#### 【法人格の取得】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【法人格取得の合意】</b> 法人格取得に関する趣旨・意義を、スタッフだけでなく、会員・参加者も含め丁寧に説明し、理解や賛同を得ていますか *法人格取得趣旨の例. 地域社会からの信頼性を確保・向上させる、公的な組織・団体としての地位確保及び社会的責任を果たす等	
2	<b>【法人格取得後の運営の見通し】</b> 法人格取得後の運営方法について、事前にシミュレーションを行う等、十分に検討の上、当面の手続き作業等の短期的な見通しや、中長期的な将来の展望も含めた詳細な計画を立てていますか	
3	<b>【法人格取得手続きの準備】</b> 「NPO法人」「公益財団法人」等の法人格取得に関する法律や条令、手続き方法等の情報を収集し、クラブにとって充足している部分、不足している部分を認識し準備を進めていますか	

## II. 現状のチェック

### — 安定的な活動拠点の確保 —

#### 《安定的に利用できる施設の確保》

##### 【各種活動施設の確保】

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

[選択肢]

3. クラブで保有している、あるいは指定管理者・業務委託等により、施設利用を調整する立場で安定的に利用できる  
または、施設の管理者・保有者等からの理解・協力・許可を得て、安定的・定期的に利用できる優遇を得ている
  2. 現在は何らの優遇措置がないものの、施設管理者に対して優先利用等の優遇措置を受けられるよう交渉している
  1. 何らの優遇措置がなく、優先利用等の優遇を受けるための取り組みを行っていない(未対応)
- ／ 該当する施設がない・施設の利用自体がルール上認められていない・利用しないので対応不要である(該当しない)

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【学校施設】</b> 日常的な活動拠点として、地域の <b>学校施設</b> が利用できますか	
2	<b>【公共スポーツ施設】</b> 日常的な活動拠点として、地域の <b>体育館やグラウンド等の公共スポーツ施設</b> が利用できますか	
3	<b>【公民館等、社会教育施設】</b> 公民館等の <b>社会教育施設</b> が利用できますか * 利用例. 学校施設や公共スポーツ施設が利用できない場合の代替施設として利用、用具保管等の日常的な活動を補完する施設として利用、他	
4	<b>【自然環境・公共空間の利用】</b> スキー、カヌー、ウォーキング等の <b>屋外の活動拠点</b> として、 <b>自然環境や公共空間の施設</b> が利用できますか	

##### 【施設利用に係る取り扱い】

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

[選択肢]

3. 施設利用にあたって、**無償**で利用できる、または**利用料の減免措置等**、何らかの**経済的な優遇**を得ている
  2. 現在は何らの**経済的な優遇措置**がないものの、施設管理者に対して**優遇措置**を受けられるよう交渉している
  1. 何らの**経済的な優遇措置**がなく、**優遇**を受けるための**取り組み**を行っていない(未対応)
- ／ 該当する施設がない・施設の利用自体がルール上認められていない・利用しないので対応不要である(該当しない)

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【学校施設】</b> 日常的な活動拠点として、地域の <b>学校施設</b> が利用できますか	
2	<b>【公共スポーツ施設】</b> 日常的な活動拠点として、地域の <b>体育館やグラウンド等の公共スポーツ施設</b> が利用できますか	
3	<b>【公民館等、社会教育施設】</b> 公民館等の <b>社会教育施設</b> が利用できますか	
4	<b>【自然環境・公共空間の利用】</b> スキー、カヌー、ウォーキング等の <b>屋外の活動拠点</b> として、 <b>自然環境や公共空間の施設</b> が利用できますか	

## II. 現状のチェック

### — 安定的な活動拠点の確保 —

#### 《クラブハウス機能の確保》

##### 【クラブ専用スペースの確保】

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

[選択肢]

3. 誰もが気軽に訪問・利用できる専用スペースを確保している(個人宅の一室(スペース)等ではない)
2. 現在、クラブ専用のスペースを確保していないものの、確保に向けて取り組んでいる
1. 何らの取り組みを行っていなかった(未対応)または、意識していなかった
- / 該当しない・必要ないので対応不要である

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【事務局専用スペースの確保】</b> クラブの事務的作業等のデスクワークを行うために必要なスペース・機能を確保していますか	
2	<b>【サロンスペース(機能)の確保】</b> クラブ関係者や地域住民(会員・参加者等含む)同士が交流できるようなスペース・機能を確保していますか *例. 公民館等の社会教育施設、学校空き教室、空き店舗、空き倉庫等の施設・スペースや、クラブと提携している喫茶店等	
3	<b>【用具・物品庫スペースの確保】</b> クラブ活動に関するスポーツ用具等を保管するために必要なスペース・機能を確保していますか	

## II. 現状のチェック

### — 地域に根差した事業の展開 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった / 該当しない  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である

### 《安全管理体制の確立》

#### 【安全面に配慮した事業の実施】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【事業内容のシミュレーション】</b> 事業の企画段階において、参加者の特徴をよく考慮し、事前に事業のシミュレーションを行う等、十分な安全管理体制を整えていますか *参加者の特徴例. 高齢者における加齢的特徴、幼少児における運動経験の乏しさ・活発さ等	
2	<b>【安全管理の意識共有】</b> 事業の実施前に、指導者を中心とした運営スタッフ内で、指導内容や安全管理の対応等の会議・打ち合わせを必ず行っていますか	
3	<b>【活動環境の点検・確認】</b> 事業実施にあたって、指導者を中心とした運営スタッフ等によって、施設・用具の点検や、参加者の体調チェック、天候等の自然環境等に関する安全確認を必ず行っていますか	
4	<b>【安全管理に関する研修会等への参加】</b> 指導者をはじめとするすべての運営スタッフ等が、安全管理や応急処置に関する研修会等へ参加し、安全管理に関する知識・技能を身につけていますか	
5	<b>【保険の加入】</b> 会員・参加者、指導者、運営スタッフ等、すべてのクラブメンバーが傷害等の保険に加入していますか / クラブは賠償責任保険にも加入していますか	

#### 【緊急時連絡体制の整備】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【緊急時対応の準備／参加者情報】</b> 参加者の緊急連絡先・既往症・健康状況等の参加者情報を予め把握・管理していますか	
2	<b>【緊急時対応の準備／危機管理体制】</b> 自然災害、突発的な傷病・事故等の緊急時における危機管理に関する体制を事業実施前に整えていますか *危機管理体制の例. 応急救護の研修、指示系統の統一、関係者との連絡体制、救急機関・警察等との連携体制、責任者の明確化、他	
3	<b>【緊急時対応の準備／危機管理マニュアルの作成】</b> 緊急時における危機管理(対応方法)のマニュアルを作成し周知していますか	

## II. 現状のチェック

### — 地域に根差した事業の展開 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- 【選択肢】 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった / 該当しない  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である

#### 《基本的スポーツ事業》

##### 【※クラブサービス事業の実施】

※ クラブ会員の中で特定の競技種目を志向する者(サークル等)に対して、専門の指導者等による指導サービスを行う事業をいう。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【クラブサービス(サークル等)活動の充実感】</b> スポーツ活動や文化的活動等のサークル活動に、会員が満喫・充実・満足できるように努めていますか	
2	<b>【会員ニーズの反映】</b> 活動時間帯や指導内容、活動施設・用具等のサービス内容は、会員のニーズを反映していますか	
3	<b>【理念とビジョンの共有】</b> サークル等の活動がクラブの目指す方向性と合致するように、定期的にクラブの理念とビジョンを共有する機会を整え、会員、指導者をはじめとする運営スタッフに周知・啓発を図っていますか	
4	<b>【自治的活動の育成】</b> サークル等の活動が会員や指導者等の自治によって行えるよう、サークル運営に必要な知識・技術等を育成するよう努めていますか	
5	<b>【自治的活動の支援】</b> サークル等の活動が会員や指導者等の自治によって行えるよう、必要な諸支援(施設・用具等の提供、運営に係る助言、広報の援助等)と、適切な支援をするための定期的な情報共有を行っていますか	
6	<b>【指導者確保に係るコネクションの確保】</b> サークルのニーズに合致するような指導者を確保するコネクション(縁故関係、つながり)を確保していますか	
7	<b>【事業効果とプログラムの検証】</b> 当該事業が、地域住民(会員・参加者)、クラブ、地域社会のすべてにとって有益であるか等、事業の必要性と効果を定期的(1年に1回等)に検証し、改善・見直しを図っていますか	
8	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	

##### 【※プログラムサービス事業の実施】

※ クラブ会員をはじめ当該地域の住民等を対象に、運動・スポーツのプログラム(教室、大会、行事等)を提供する事業をいう。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【プログラム(教室等)活動の充実感】</b> スポーツ活動や文化的活動等の教室活動に、会員・参加者が満喫・充実・満足できるように努めていますか	
2	<b>【参加者ニーズの反映】</b> プログラム内容、指導者の配置、活動環境(施設・用具)等の全般的なサービス内容は、会員・参加者のニーズを反映していますか	
3	<b>【プログラム内容の検討】</b> プログラム内容の検討にあたり、対象者を明確にした上で、運動の強度・頻度・量を考慮し、会員・参加者のニーズに合った内容となるように意識していますか	
4	<b>【参加しやすい環境の整備】</b> 会員・参加者にとって、参加しやすい環境(実施時間帯・曜日、プログラムの案内、クラブ内の雰囲気等)を整えるよう配慮していますか *例. 主婦に対して、家事が忙しい朝・夕の時間帯を避けている／社会人のために夕方・夜間に実施している／子ども達の放課後の居場所となるような時間・場所を設定している／子育てママのための託児サービス等	
5	<b>【指導者確保に係るコネクションの確保】</b> プログラム内容に合致するような指導者を確保するコネクション(縁故関係、つながり)を確保していますか	
6	<b>【事業効果とプログラムの検証】</b> 当該事業が、地域住民(会員・参加者)、クラブ、地域社会のすべてにとって有益であるか等、事業の必要性と効果を定期的(1年に1回等)に検証し、改善・見直しを図っていますか	
7	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	

## II. 現状のチェック

### 一 地域に根差した事業の展開 一

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- 【選択肢】 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった/取り組んでいなかった / 該当しない
2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である

#### 【\*エリアサービス事業の実施】

※ 学校施設や公共スポーツ施設を確保し、広く地域一般に対して、当該施設の活用を提供する事業をいう。但し、当該クラブが施設を管理するための指定管理者等の資格を有していることが前提となる。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【エリアサービス事業の充実感】</b> スポーツ施設の利用等全般について、利用者(地域住民)が満喫・充実・満足できるように努めていますか	
2	<b>【公益性の確保】</b> 地域住民の誰もが、公平に施設を利用できる機会を確保し、施設提供に関する事業の公益性を高めていますか	
3	<b>【参加者ニーズの反映】</b> 利用環境(施設・用具、利用時間)等の一般的なサービス内容は、利用者のニーズを反映していますか	
4	<b>【事業効果とプログラムの検証】</b> 当該事業が、地域住民(会員・参加者)、クラブ、地域社会のすべてにとって有益であるか等、事業の必要性と効果を定期的(1年に1回等)に検証し、改善・見直しを図っていますか	
5	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	

#### 【\*イベント観戦サービス事業の実施】

※ クラブ会員や当該地域の住民に対して、トップレベルの競技を観戦する等の機会を確保することにより、「見るスポーツ」を提供する事業をいう。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【事業実施に係る情報収集等】</b> 観戦ツアーやパブリックビューイング等のイベント観戦サービスを実施するために、必要な関連情報を入手・把握するための情報収集・ネットワーク構築を行っていますか	
2	<b>【観戦者の充実感】</b> イベント観戦サービス全般について、観戦者(地域住民)が満喫・充実・満足できるように努めていますか	
3	<b>【観戦者ニーズの反映】</b> イベント観戦サービスにおける提示内容、観戦環境等は、観戦者のニーズを反映していますか	
4	<b>【事業効果とプログラムの検証】</b> 当該事業が、地域住民(会員・参加者)、クラブ、地域社会のすべてにとって有益であるか等、事業の必要性と効果を定期的(1年に1回等)に検証し、改善・見直しを図っていますか	
5	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	

(注) 観戦ツアーは、「旅行法」に定める「旅行業」に該当する場合があります。観戦ツアーを企画する際には、事前に「旅行法」の内容を確認したり、旅行業を行う資格を有する旅行業者に相談することが必要です。

## II. 現状のチェック

### — 地域に根差した事業の展開 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- 【選択肢】 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
 ／ 該当しない

### ◀ 関連的スポーツ事業 ▶

#### 【※情報サービス事業の実施】

※ クラブ会員及び当該地域の住民に対し、各種媒体を用いて、クラブ内の諸活動に関する情報や当該地域におけるスポーツに関する情報等を提供する事業をいう。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【情報提供の対象範囲】</b> クラブの情報や地域スポーツを推進するような情報を提供する際は、 <b>クラブ会員・参加者、特定のステークホルダー(賛助会員等の関係者)</b> はもとより、 <b>広く地域住民までを対象</b> にしていますか	
2	<b>【提供内容に対する満足感】</b> 情報サービス事業の提供内容全般は、クラブ活動及びスポーツ活動全般への興味・関心を喚起させ、 <b>地域住民等</b> がその内容に <b>満足</b> できるように努めていますか	
3	<b>【情報サービス事業に対するニーズの反映】</b> 情報サービス事業による <b>提供内容(情報)</b> は、情報を提供される地域住民等の <b>ニーズを反映</b> していますか	
4	<b>【クラブへの親近感醸成】</b> 地域のスポーツ情報提供サービスを通して、クラブ理念等の啓発を行うことやクラブ活動を紹介する等、クラブへの <b>親近感を高める</b> ように努めていますか	
5	<b>【効果的な情報サービスの実施】</b> 「 <b>クラブのらくらく広報(別途ツール)</b> 」を利用して、情報サービス事業を展開していますか	
6	<b>【事業効果とプログラムの検証】</b> 当該事業が、 <b>地域住民(会員・参加者)、クラブ、地域社会のすべてにとって有益</b> であるか等、 <b>事業の必要性と効果</b> を定期的(1年に1回等)に <b>検証し、改善・見直し</b> を図っていますか	
7	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	

#### 【※指導者研修事業の実施】

※ クラブ内で定期的な指導者の研修を行う事業をいう。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【指導者の研修の体制整備】</b> <b>プレイヤーズ・ファースト</b> の視点を持つ指導者を育成するための <b>研修体制を整</b> えていますか	
2	<b>【会員・参加者の指導ニーズ反映】</b> 会員・参加者が求める <b>指導内容(会員・参加者ニーズ)</b> を、指導者の <b>研修内容に反映</b> していますか	
3	<b>【指導者ニーズの反映】</b> 指導者が求める <b>研修内容(指導者ニーズ)</b> を、指導者の <b>研修内容に反映</b> していますか	
4	<b>【指導者の満足感】</b> クラブが行う指導者研修の内容について、 <b>指導者が満喫・充実・満足</b> するように努めていますか	
5	<b>【事業効果とプログラムの検証】</b> 当該事業が、 <b>指導者、地域住民(会員・参加者)、クラブ、地域社会のすべてにとって有益</b> であるか等、 <b>事業の必要性と効果</b> を定期的(1年に1回等)に <b>検証し、改善・見直し</b> を図っていますか	
6	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	

## II. 現状のチェック

### 一 地域に根差した事業の展開

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- 【選択肢】 3. すでに実施し、対応する体制がある                      2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
1. 意識していなかった／取り組んでいなかった                      / 該当しない

#### 【\*顕彰・表彰・制度的評価事業の実施】

※ 主に運営スタッフやクラブ会員を対象として、一定の基準を満たした場合に、その功績等を顕彰・表彰する事業をいう。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【顕彰・表彰基準の明確化】</b> 顕彰・表彰の評価を行うにあたって、公平性・透明性を伴った合理的な基準を定め公表しており、クラブ関係者一同がその妥当性を認めていますか	
2	<b>【顕彰・表彰の価値】</b> クラブから顕彰・表彰されること自体が、受賞者の名誉となるよう、顕彰・表彰の受賞価値を高めていますか	
3	<b>【顕彰・表彰の効果】</b> クラブから顕彰・表彰されることによって、受賞者がクラブに対する絆と信頼感を高めるような配慮・工夫を行っていますか	
4	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	

#### 【\*経済的支援事業の実施】

※ クラブ内のサークル等に対して、その活動に係る金銭的支援を行う事業をいう。但し、当該クラブが相応の財政的基盤(安定的な自主財源、行政からの補助金等)が整っていることが前提となる。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【支援目的及び計画の明確化】</b> 経済的支援を行うにあたって、支援目的と具体的な支援計画を明確にし、クラブ関係者一同了承の下、適切な支援を実施していますか	
2	<b>【経済的支援基準の明確化】</b> 経済的支援を行うにあたって、公平性・透明性を伴った合理的な基準(対象、金額等)を定め公表しており、クラブ関係者一同がその妥当性を認めていますか	
3	<b>【経済的支援事業の効果】</b> 経済的支援を行ったことによる効果(有形・無形を問わず、会員の増加、社会的認知度の向上、クラブの公益性向上等)を検証し、改善・見直しを図っていますか	
4	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	

#### 【\*施設・設備・用具管理事業の実施】

※ 学校施設や公共スポーツ施設、それに付随する設備・用具の管理を代行する「施設の管理委託」、または「指定管理者制度」等を受けて行う事業をいう。

但し、当該クラブが施設・設備・用具管理の権限を有するとともに、必要な施設・設備・用具の知識、相応の運営業務をこなすスタッフの確保、財政的体力等、事業実施に伴う諸業務を運営する要素が整っていることが前提となる。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【利用者の満足感】</b> 施設・設備・用具を、利用者の誰もが快適に気持ち良く利用できる環境を整えていますか	
2	<b>【事業効果とプログラムの検証】</b> 当該事業が、地域住民(会員・参加者)、クラブ、地域社会のすべてにとって有益であるか等、事業の必要性和効果を定期的(1年に1回等)に検証し、改善・見直しを図っていますか	
3	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	



## II. 現状のチェック

### 一 地域に根差した事業の展開 一

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- 【選択肢】 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった / 該当しない  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である

#### 《交流事業》

##### 【\*会員(参加者)交流事業の実施】

※ クラブ会員(参加者)間の交流や親睦を深めることを目的とした共益的な事業をいう。  
 なお、「共益」とは、ここではクラブメンバー間における共通の利益をいう。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【共益的事業の実施】</b> 1年に1回以上、クラブメンバーの誰もが参加し交流を深められるような共益的なイベント事業を主催・実施していますか *例. 教室・サークル・スタッフ対抗クラブ運動会、会員交流懇親会等	
2	<b>【会員交流事業の充実感】</b> 会員(参加者)同士の積極的な交流を通して、会員・参加者が満喫・充実・満足できるように努めていますか	
3	<b>【会員(参加者)ニーズの反映】</b> 会員(参加者)が交流する事業の内容は、会員(参加者)のニーズを反映していますか	
4	<b>【理念とビジョンの共有】</b> クラブ理念とビジョンを共有する機会として捉え、効果的な周知・啓発ができるような工夫をしていますか	
5	<b>【クラブメンバーにおけるクラブへの親近感・愛着感】</b> 会員(参加者)同士の交流を通して、クラブメンバーがクラブへの親近感・愛着を高めるよう努めていますか	
6	<b>【事業効果とプログラムの検証】</b> 当該事業が、会員(参加者)、クラブにとって有益であるか等、事業の必要性和効果を定期的(1年に1回等)に検証し、改善・見直しを図っていますか	
7	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	

##### 【地域交流事業の実施】

※ 公益的な事業… 不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する事業(無償である必要はない)をいう。  
 なお、「公益」とは、クラブを含む地域社会全体における公共の利益をいう。

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【公益的事業の実施】</b> 1年に1回以上、地域住民の誰もが参加し交流できるような公益的なイベント事業を主催・実施していますか	
2	<b>【地域交流事業の充実感】</b> 地域住民同士の積極的な交流を通して、地域住民が満喫・充実・満足できるように努めていますか	
3	<b>【地域住民ニーズの反映】</b> 地域住民が交流する事業の内容は、地域住民のニーズを反映していますか	
4	<b>【当該地域におけるクラブへの親近感・信頼感】</b> 公益的な事業を通して、地域(住民、行政、企業等)からクラブへの親近感・信頼感を得られるよう努めていますか	
5	<b>【地域活性化への寄与】</b> 公益的な事業を通して、地域における住民間の交流が増える等、地域活性化に役立つよう努めていますか	
6	<b>【理念とビジョンの共有】</b> クラブ理念とビジョンを周知・共有する機会として、効果的な啓発が行えるような工夫をしていますか	
7	<b>【事業効果とプログラムの検証】</b> 当該事業が、地域住民(会員・参加者)、クラブ、地域社会のすべてにとって有益であるか等、事業の必要性和効果を定期的(1年に1回等)に検証し、改善・見直しを図っていますか	
8	<b>【収支計算】</b> 事業実施に係る収支のシミュレーションを行った上で、事業を行っていますか	

## II. 現状のチェック

### ー 地域との相互扶助を築く他団体等との連携 ー

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- 【選択肢】 3. すでに実施し、対応する体制がある                                                2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
 1. 意識していなかった/取り組んでいなかった                                                / 該当しない

#### 【既存のスポーツ少年団及び地域スポーツクラブ等多様なスポーツ組織との連携】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【相互補完の関係構築】</b> ※1連携先団体・組織と共存し、お互いを高め合うために、連携先団体・組織の「弱み」を自らのクラブの「強み」によって補い、また、自らのクラブの「弱み」を連携先団体・組織の「強み」によって補う、といった両者が「win-winの関係」になるような相互補完の関係構築が図れるように努めていますか	
2	<b>【公益性の確保】</b> 連携先団体・組織とお互いに「win-winの関係」を構築し、地域スポーツの推進及び地域社会の発展にとって有益(公益)となるような連携を図っていますか	
3	<b>【連携先団体・組織の特徴反映】</b> 効果的な連携を行うにあたり、連携先団体・組織の特徴(強み・弱み、組織の特性等)及び自らのクラブの特徴(強み・弱み等)を連携体制に反映していますか	
4	<b>【連携先団体・組織における実績の尊重】</b> 連携先団体・組織が積み重ねてきた実績や成果については十分に尊重し、クラブの事情で一方向的に侵害することのないよう、連携の内容を提案・協議していますか	

※1「連携先団体・組織」:スポーツ少年団、各種の地域スポーツクラブ、市区町村体育協会等、様々なスポーツ組織・団体をさす。

#### 【行政・教育機関との連携】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【行政機関との相互補完関係の構築】</b> クラブの活動が地域社会の一機能として必要不可欠となるよう、クラブと行政機関が「win-winの関係」になるような相互補完の関係が築けるように努めていますか *例、公共施設の管理・運営、託児機能等の行政機能の代行による行政の業務負担軽減、他	
2	<b>【行政との協働による地域貢献】</b> 行政機関とクラブが「win-winの関係」を構築し、さらに地域社会にとって有益(公益)となるような連携を図っていますか	
3	<b>【行政機関の特徴反映】</b> 効果的な連携を行うにあたり、行政機関の特徴(強み・弱み、組織の特性等)及び自らのクラブの特徴(強み・弱み等)を連携体制に反映していますか	
4	<b>【学校教育機関との相互補完関係の構築】</b> クラブの活動が学校教育の一機能として必要不可欠な存在となるよう、学校部活動との連携による地域のスポーツ推進やフィールドワーク・体験学習の場を提供する等、クラブと学校教育機関が「win-winの関係」になるような相互補完の関係が築けるように努めていますか	
5	<b>【学校教育機関との協働による地域貢献】</b> 学校教育機関とクラブが「win-winの関係」を構築し、さらに地域社会にとって有益(公益)となるような連携を図っていますか	
6	<b>【学校教育機関の特徴反映】</b> 効果的な連携を行うにあたり、学校教育機関の特徴(強み・弱み、組織の特性等)及びクラブの特徴(強み・弱み等)を連携体制に反映していますか	

## II. 現状のチェック

### — 地域との相互扶助を築く他団体等との連携 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
 ／ 該当しない

#### 【民間団体(自治会、企業等)との連携】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【民間団体との相互補完の関係構築】</b> クラブが地域自治活動や地域経済の一機能として必要不可欠な存在となるよう、クラブと地域民間団体(自治会、企業等)が「win-winの関係」になるような相互補完の関係が築けるように努めていますか * 例. 地域の文化・伝統行事の運営を担う／医療機関・福祉機関や保険会社等と連携した健康プログラムを行う／企業のCSR活動と連動した事業を行う／商店街・商工会と連動した物販事業を行う、他	
2	<b>【民間団体との協働による地域貢献】</b> 民間団体(自治会、企業等)とクラブが「win-winの関係」を構築し、さらに地域社会にとって有益(公益)となるような連携を図っていますか	
3	<b>【民間団体の特徴反映】</b> 効果的な連携を行うにあたり、民間団体の特徴(強み・弱み、営利／非営利、ネットワーク等)及び自らのクラブの特徴(強み・弱み等)を連携体制に反映していますか	
4	<b>【民間団体における実績の尊重】</b> 民間団体が積み重ねてきた実績や成果については十分に尊重し、クラブの事情で一方向的に侵害することのないよう、連携の内容を提案・協議していますか	

#### 【研究機関(大学等)との連携】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【研究機関との相互補完の関係構築】</b> クラブと研究機関(大学等)が「win-winの関係」になるような相互補完の関係が築けるように努めていますか * 例. 学生のインターン(社会活動の実践)を受け入れつつ、若い人材(スタッフ)を確保する／運動データを提供しつつ、健康に関する専門的な助言を得る／地域に対する大学のCSR活動として、クラブにスポーツ施設の一部を開放する、他	
2	<b>【研究機関との協働による地域貢献】</b> 研究機関(大学等)とクラブが「win-winの関係」を構築し、さらに地域社会にとって有益(公益)となるような連携を図っていますか	
3	<b>【研究機関(大学等)の特徴反映】</b> 効果的な連携を行うにあたり、研究機関(大学等)の特徴(強み・弱み、研究分野等)及び自らのクラブの特徴(強み・弱み等)を連携体制に反映していますか	
4	<b>【研究機関(大学等)における実績の尊重】</b> 研究機関(大学等)が積み重ねてきた実績や成果については十分に尊重し、クラブの事情で一方向的に侵害することのないよう、連携の内容を提案・協議していますか	

# Ⅱ. 現状のチェック

## 一 地域とクラブをつなぐ※1コミュニケーション戦略 一

※1「コミュニケーション戦略」:

クラブ自身やクラブの事業内容を、地域全般や特定の対象者に効率的かつ効果的に伝える(紹介・案内する)ための方策

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢]    3. すでに実施し、対応する体制がある                    2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である
1. 意識していなかった／取り組んでいなかった        /    該当しない

### 【各種媒体によるコミュニケーション戦略の策定(事前準備)】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【コミュニケーション戦略における目的の明確化】</b> コミュニケーション戦略を立案する際には、「誰に対して」「何(どのような内容)を」「どのような手段で」「どのように受け取って欲しいか」「どのような効果を狙っているか」等について、クラブ内で検討し明確にしていますか	
2	<b>【認知されたいクラブイメージの確立】</b> クラブの理念・特色・特徴を整理し、地域の住民、他の団体・機関等に対して、どのようにクラブを認識し感じてもらいたいかを明確に定めていますか	
3	<b>【アイキャッチャーの設定】</b> クラブの認知度及び親近感を高めるようなクラブの愛称・略称・キャッチコピーや、象徴的なロゴマーク・マスコット・イメージカラー・人物等を設定していますか	
4	<b>【適切な手段・頻度・内容の設定】</b> 呼びかけたい対象者ごとに、各々に対する適切な手段(媒体等)を選択し、頻繁(最低でも月1回)にクラブの紹介及び実施事業の内容が印象深くなるよう工夫していますか *適切な手段(媒体等)の例. TV、ラジオ、インターネット等の電子媒体、新聞、回覧板やチラシ等の紙媒体、他	
5	<b>【事業効果の検証】</b> コミュニケーション戦略の実行により、効果的・効率的に、狙い通りの内容で、成果をあげられたか等について定期的に検証し、常に改善・見直しを図っていますか	
6	<b>【参考資料の収集】</b> 他クラブのチラシ・パンフレットや、他業種・他業態のチラシ・パンフレット・カタログ等、様々な既存広報媒体を収集し、参考としていますか	
7	<b>【アクセス方法・手段の把握】</b> 効果的なコミュニケーション活動が行えるよう、メディアや他の団体・機関等へのアクセスするための方法・手段を整理・把握して活用していますか	
8	<b>【マスメディアとの関係構築】</b> クラブ自身やクラブの活動等がマスメディアによって記事等に取り上げられるように、メディアとの関係を日頃から構築することに努めていますか *例. クラブの公益的な活動に記者等を招待する、チラシ・パンフレット等をマスメディアにも配布する等	

### 【各種媒体によるコミュニケーション戦略の実行】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【クラブの認知度向上】</b> 事業の紹介や開催案内の各種媒体を作成する際には、クラブ理念や活動趣旨等も紹介し、クラブへの親近感等のプラスイメージを高めるようにしていますか	
2	<b>【事業の認知度向上】</b> 事業の紹介や開催案内の各種媒体を作成する際には、直感的に紹介・案内の内容が理解でき、かつ印象に残るように工夫していますか	
3	<b>【会員が広げるクラブ情報】</b> クラブ会員のロコミ等によって、クラブ自身やクラブ活動等における良い面・良い内容が広く地域に伝わり、クラブへの親近感を高め、興味・関心を持たれるように努めていますか	
4	<b>【コミュニケーション戦略と活動現場との整合性】</b> コミュニケーション戦略によって周知した内容と、活動現場での実践内容に齟齬が生じないように、運営スタッフ全員がコミュニケーション戦略における周知内容を体現するように努めていますか	

## Ⅱ. 現状のチェック

### ― 地域とクラブをつなぐ※1コミュニケーション戦略 ―

※1「コミュニケーション戦略」:

クラブ自身やクラブの事業内容を、地域全般や特定の対象者に効率的かつ効果的に伝える(紹介・案内する)ための方策

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢]   3. すでに実施し、対応する体制がある                      2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
              1. 意識していなかった／取り組んでいなかった             ／ 該当しない

#### 【講演・説明・面談によるコミュニケーション活動の実施】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【説明による広報活動】</b> 媒体を用いた広報活動以外に、地域の住民・自治会・行政・教育機関・企業等に対して、様々なイベント等に参加してクラブの説明を行ったり、個別に訪問して説明する等、呼びかけたい対象に対して直接的な広報活動を行っていますか	
2	<b>【視察・体験型の広報活動】</b> 興味を持った地域住民、組織・団体が、気軽にクラブを視察したり、体験できるような機会・方法を設け、積極的に受け入れ、丁寧に説明していますか	
3	<b>【参加型の広報活動】</b> 誰でも参加できる地域住民の交流イベント等(お祭り、旅行、他)を実施し、クラブへの親近感を高めるとともに、体験する機会を設けていますか	

## II. 現状のチェック

### — 安定的で持続可能な財源の確保 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある                      2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった                      / 該当しない

#### 【事業収入等による収益確保】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【「受益者負担」の周知・理解】</b> クラブの経営実態(収支決算書等)を公開する等により、受益者負担の考えを参加者に丁寧に周知・説明し、会費徴収の理解が得られ浸透していますか	
2	<b>【財源を確保するための留意点】</b> クラブの運営及び事業の実施に必要かつ十分な財源を確保するため、下記の点等に留意し、安定的に事業収益を得られるように検討していますか ・会員・参加者、地域(住民・自治体・行政等)のニーズ ・クラブの強み(特長) ・クラブの資源 ・想定しうるリスク ・その他、地域特性	
3	<b>【助成金の考え方】</b> 助成金(toto助成等)は次のような性質があることを理解し、助成終了後を見据えて活用していますか ・公的なお金であり、使途等の制限や、説明責任を伴う ・助成年限が定められている(永続的な収入ではない) ・クラブの創設及び自立に至る初期段階における経済的支援	
4	<b>【財源確保の展望】</b> 将来的な展望及び計画(事業の拡充・専従スタッフの雇用、クラブハウスの確保等)を想定した長期的な財源確保の方策を定期的に検討していますか	
5	<b>【クラブ外部からの収入源確保】</b> 会費・参加料の他に、クラブ外部からの財源確保を得ていますか *例、[公益的な事業]指定管理者業務の受託、他機関・組織等からの委託事業の受託、指導者等クラブスタッフ派遣等 / [収益事業]クラブ関連グッズ等の物販等	
6	<b>【法人格の取得】</b> クラブ外部からの収入源を確保するにあたり、指定管理者制度や委託事業を受託しやすい環境を整えるために、「NPO」等の法人格を取得していますか	
7	<b>【事業財源を確保するための知識・技能の獲得】</b> 日本体育協会公認「クラブマネジャー」の資格を保有していますか ※「アシスタントマネジャー」の資格のみ保有している場合は、「2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である」を選択します	

## II. 現状のチェック

### — 安定的で持続可能な財源の確保 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- [選択肢] 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった / 該当しない  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である

#### 【適切なクラブ会費及び参加料の設定】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【会費設定の基本的な考え方】</b> 会費金額の設定にあたり、基本的に、クラブ運営及び定期的な事業実施に必要な経費を、年間を通じた会費収入及び事業収入で全てまかなうことができる金額を設定していますか	
2	<b>【参加料設定の基本的な考え方】</b> 単発的な事業の参加料設定にあたり、基本的に、事業に必要な経費を全てまかなうことができる金額を余裕をもって設定していますか *単発的な事業の例. スキー合宿、日帰りハイキング、スポーツ観戦ツアー、代表戦パブリックビューイング等	
3	<b>【助成金の考え方】</b> 会費及び参加料の設定にあたり、期間に限りがある助成金に過度に頼り過ぎないように、助成終了前に独立採算が可能となるようなビジョンと事業計画を明確にした上で、設定していますか	
4	<b>【会費設定に係る留意点①／クラブ運営経費の算出】</b> 会費金額の設定にあたり、クラブ運営に必要な下記のような経費について、 <sup>※1</sup> 初期費用、 <sup>※2</sup> 日常的な維持管理費用、機材等の経年劣化を見越した買換費用、将来の運営拡充に必要となる経費(積立金)までを想定し、算出していますか ・会議費(1回あたりの単価×年間の開催回数等) ・人件費(謝金、給与等) ・事務局費(事務局スペースの維持・管理、事務用品、消耗品等) ・将来の発展的拡充に向けた積立金 ・その他必要経費	
5	<b>【会費設定に係る留意点②／定期的な事業実施に関する経費の算出】</b> 会費金額の設定にあたり、定期的な事業実施に必要な下記経費について、初期費用、 <sup>※3</sup> 事業の運営費用、機材等の経年劣化を見越した買換費用、将来の事業拡充に必要となる経費(積立金)を想定し、算出していますか ・施設使用料 ・人件費(謝金、給与等) ・必要機材、用具 ・コミュニケーション戦略 ・その他必要経費	
6	<b>【参加料設定に係る留意点／単発的な事業実施に関する経費の算出】</b> 参加料の設定にあたり、単発的な事業実施に必要な下記経費について、初期費用、事業の運営費用、将来の事業拡充に必要となる経費を想定し、算出していますか ・施設使用料 ・人件費(謝金、給与等) ・必要機材、用具 ・コミュニケーション戦略 ・その他必要経費	

※1「初期費用」：クラブ運営においては、事務局設置に伴う必要機材・用具の導入に必要な当初の費用。事業実施においては、新規プログラムのニーズ調査、開発費用、必要機材・用具の導入費など、開発から実施までの当初にかかる費用。

※2「日常的な維持管理費用」：スタッフの雇用や事務的な消耗品など、クラブ運営を維持するための経費。

※3「事業の運営費用」：指導者・スタッフの謝金や事業実施に必要な施設使用料や消耗品など、事業を運営するための費用。

## II. 現状のチェック

### — 安定的で持続可能な財源の確保 —

クラブの現状について、下記の選択肢番号より当てはまる数字を、チェック欄にご記入(入力)ください。

- 【選択肢】 3. すでに実施し、対応する体制がある  
 1. 意識していなかった／取り組んでいなかった / 該当しない  
 2. 対応を完了していないが、現在、取り組み中である

#### 【適切な支出のあり方】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【支出計画の策定】</b> クラブ全体の長期計画を踏まえて年間の収入見通しを精査した上で、「※1事業単位」「※2費目単位」等の各単位で年間を通しての支出額を厳密に算出し、年間の支出計画を立てていますか *収入の例. 会費収入、参加料収入、事業収入(委託料含む)、助成金・補助金、賛助金・寄附金等 *支出の例. クラブ運営経費、事業運営経費、予備費、積立金等	
2	<b>【助成金充当の考え方】</b> 期間に限りがある助成金の支出については、下記のような初期費用を中心に充て、助成終了前には助成金に頼ることなく運営できるよう計画していますか ・新規プログラムの開発や試行、実行に至るまでの諸費用(必要器材・用具の購入、コンサルタント等専門家への謝金、コミュニケーション戦略実行費用等) ・クラブ創設に伴う、認知度の向上や親近感を高めるためのコミュニケーション戦略実行費用(ホームページの構築、チラシ・パンフレットの作成・配布、無料体験イベントの実施等)	
3	<b>【コスト意識】</b> 常に無駄な出費を減らしたり、備品や機材を購入する際には、必ず複数社以上から見積もり合わせを行う等、常にコスト削減に努めていますか 併せて、クラブの存続・発展・充実に欠かせない重要な事業やその運営コストには相応の支出を行っていますか	
4	<b>【事業の検証】</b> 現行の実施事業であっても、会員・参加者のニーズや初期の目的に適合しなくなり、収支が常にマイナスとなる場合には、廃止を含む根本的な事業の見直しを定期的(4半期程度)に行っていますか	

※1「事業単位」:クラブが行っている各事業の単位

事業単位の例. 「A教室」の年間支出額、「Bプログラム」の年間支出額、「広報事業」の年間支出額、単発的な「C事業」の支出額等

※2「費目単位」:支出の性質による単位

費目単位の例. 「人件費(給与/謝金/交通費等)」「借損料」「物品購入費(スポーツ用具/事務備品等)」「通信・運搬費」他

#### 【協賛金・寄附金等の獲得】

No.	チェック内容	チェック欄
1	<b>【協賛金・寄附金の獲得】</b> クラブ理念や活動趣旨が地域で理解され、かつ高い信頼性及び親近感を得ることにより、協賛金・寄附金の安定的な獲得につながられていますか	
2	<b>【補助金等の獲得】</b> クラブ理念や活動趣旨が地域行政に理解され、かつ高い信頼性及び親近感を得ることにより、補助金等の安定的な獲得につながられていますか	
3	<b>【コミュニケーション戦略及び交渉活動/寄附金・賛助金】</b> 地域住民に対して寄附金・賛助金募集を広報したり、自治会・企業等を直接訪問し面会・説明の機会を設けてもらう等、対外的に賛助金等の獲得に向けた活動を行っていますか	
4	<b>【交渉活動/補助金】</b> 地域行政等に対し、直接訪問し面会・説明の機会を設けてもらう等、補助金等の獲得に向けた活動を行っていますか	
5	<b>【寄附の促進】</b> 税制上の優遇措置等によって、寄附が行いやすい環境を整えるために、「認定NPO」や「公益財団法人」等の法人格を取得していますか	





## II. 現状のチェック(点検・評価結果)

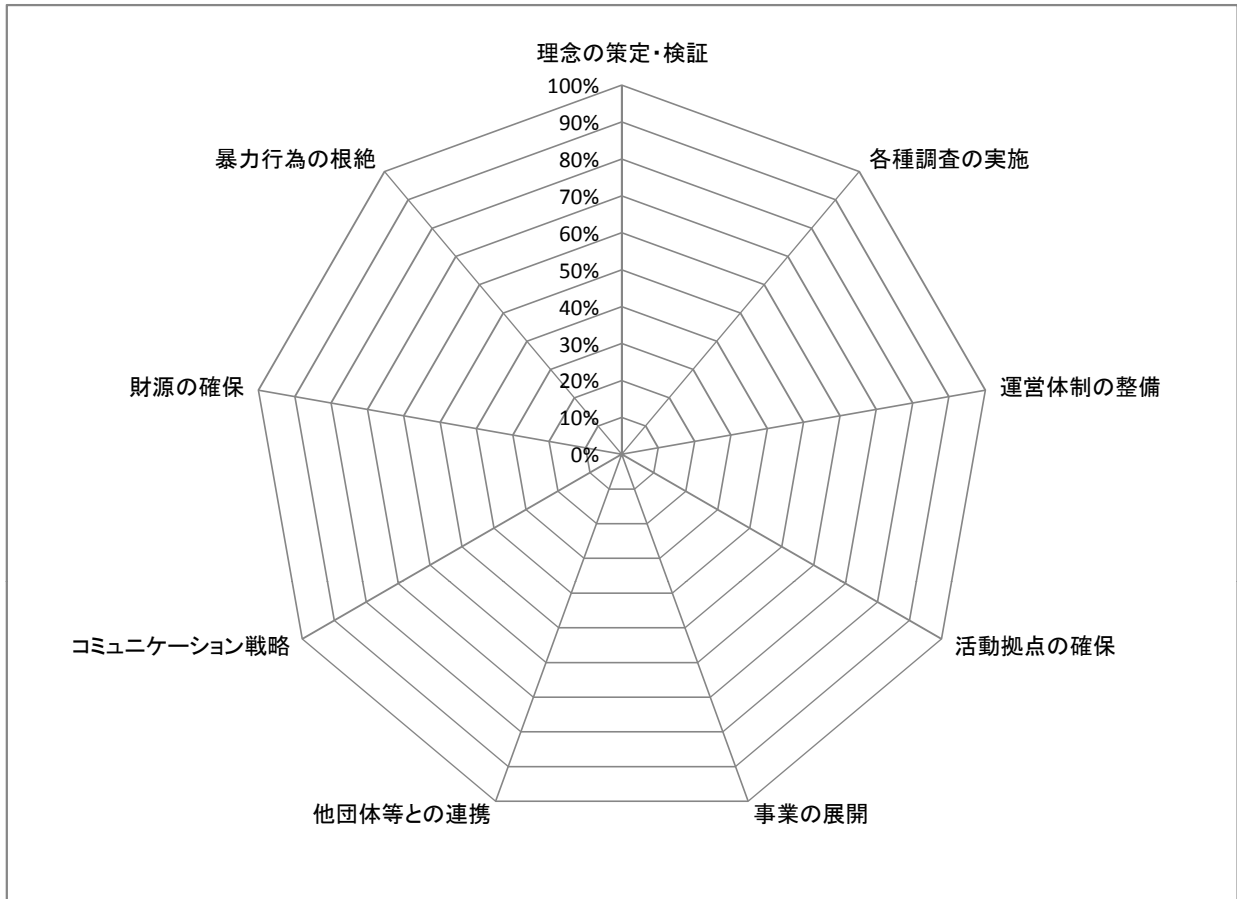
— 自己点検・評価の結果 —

※ 本シートは各チェックリストへ入力すると、自動的に算出・表示します

点検・評価の観点	点検・評価の内容	現状
【理念の策定・検証】	理念の策定・検証	
	項目別達成率	
【各種調査の実施】	地域住民の理解・把握(新規会員・参加者の確保)	
	会員・参加者の理解・把握(会員・参加者の定着)	
	活動拠点の確保	
	他団体等との連携体制の確立	
	コミュニケーション戦略の立案	
項目別達成率		
【運営体制の整備】	地域住民のクラブ運営への参画促進	
	クラブ運営スタッフの参画のあり方	
	機能的分業体制の確立	
	運営スタッフの育成・世代交代に係る体制整備	
	専従スタッフの確保	
	法人格の取得	
項目別達成率		
【活動拠点の確保】	【安定的に利用できる施設の確保】	—
	各種活動施設の確保	
	施設利用に係る取り扱い	
	【クラブハウス機能の確保】	—
クラブ専用スペースの確保		
項目別達成率		
【事業の展開】	【安全管理体制の確立】	—
	安全面に配慮した事業の実施	
	緊急時連絡体制の整備	
	【基本的スポーツ事業】	—
	クラブサービス事業の実施	
	プログラムサービス事業の実施	
	エリアサービス事業の実施	
	イベント観戦サービス事業の実施	
	【関連的スポーツ事業】	—
	情報サービス事業の実施	
	指導者研修事業の実施	
	顕彰・表彰・制度的評価事業の実施	
	経済的支援事業の実施	
	施設・設備・用具管理事業の実施	
【交流事業】	—	
会員(参加者)交流事業の実施		
地域交流事業の実施		
項目別達成率		
【他団体等との連携】	既存のスポーツ少年団及び地域スポーツクラブ等多様なスポーツ組織との連携	
	行政・教育機関との連携	
	民間団体(自治会、企業等)との連携	
	研究機関(大学等)との連携	
	項目別達成率	
【コミュニケーション戦略】	各種媒体によるコミュニケーション戦略の策定(事前準備)	
	各種媒体によるコミュニケーション戦略の実行	
	講演・説明・面談によるコミュニケーション活動の実施	
	項目別達成率	
【財源の確保】	事業収入等による収益確保	
	適切なクラブ会費及び参加料の設定	
	適切な支出のあり方	
	協賛金・寄附金等の獲得	
	項目別達成率	
【暴力行為の根絶】	総合型クラブの活動現場における暴力行為の根絶	
	項目別達成率	

## Ⅱ. 現状のチェック(点検・評価結果)

### 自己点検・評価の結果 (レーダーチャート表示)



自己点検・評価の結果を踏まえ、クラブが自立・自律するため、また、より一層の充実・発展を目指すため、今後の取り組みをクラブ内で検討の上、次ページの「目標設定」シートを用いて、クラブの取り組み計画を策定しましょう。



次ページ *STEP4* へ

# STEP4 今後の目標設定 ⇒ 今後のクラブにおける取り組み目標を設定しましょう

## 【自立・自律に向けた目標設定シート】

(1) 「設立から10年後(目標)」の項目に対して、クラブ内で十分に検討して目標値を設定してください。(中期目標の設定)

(2) 上記(1)で設定した目標に向けて、現状の自己点検・評価の結果を踏まえ、短期スパン(2~3年)での目標値を設定してください。⇒ クラブで目標達成に向けて取り組みましょう。

計画の観点		設立から10年後(目標)						創設準備1・2年目(目標 or 実績)				
自立・自律に向けた目標設定												
【会員数】	就学前幼児・小学生	中・高生		高卒~30代		就学前幼児・小学生		中・高生		高卒~30代		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	40代~50代		60代以降		身障者		40代~50代		60代以降		身障者	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	合計 (男)			(女)			合計 (男)			(女)		
【運営に携わるスタッフ数】	20~30代		40~60代		70代以降		20~30代		40~60代		70代以降	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	会費収入		参加料収入		事業収入		会費収入		参加料収入		事業収入	
【自己財源の確保】	%		%		%		%		%		%	
	助成金・補助金		委託事業の受託料		その他寄附・賛助金等		助成金・補助金		委託事業の受託料		その他寄附・賛助金等	
%		%		%		%		%		%		
※ 収入における自己財源比率の確認												
計画の観点		実施すべき内容						選択項目		達成度	目標値	
【各種調査の実施】	地域住民の理解・把握(新規会員・参加者の確保)											
	会員・参加者の理解・把握(会員・参加者の定着)											
	活動拠点の確保											
	他団体等との連携体制の確立											
【運営体制の整備】	コミュニケーション戦略の立案											
	地域住民のクラブ運営への参画促進											
	クラブ運営スタッフの参画のあり方											
	機能的分業体制の確立											
【活動拠点の確保】	運営スタッフの育成・世代交代に係る体制整備											
	専従スタッフの確保											
	法人格の取得											
	【安定的に利用できる施設の確保】						-					
【事業の展開】	各種活動施設の確保											
	施設利用に係る取り扱い											
	【クラブハウス機能の確保】						-					
	クラブ専用スペースの確保											
【他団体等との連携】	【安全管理体制の確立】						-					
	安全面に配慮した事業の実施											
	緊急時連絡体制の整備											
	【基本的スポーツ事業】						-					
	クラブサービス事業の実施											
	プログラムサービス事業の実施											
	エリアサービス事業の実施											
	イベント観戦サービス事業の実施											
	【関連的スポーツ事業】						-					
	情報サービス事業の実施											
【コミュニケーション戦略】	指導者研修事業の実施											
	顕彰・表彰・制度的評価事業の実施											
	経済的支援事業の実施											
	施設・設備・用具管理事業の実施											
【財源の確保】	【交流事業】						-					
	会員(参加者)交流事業の実施											
	地域交流事業の実施											
【暴力根絶の根絶】	既存のスポーツ少年団及び地域スポーツクラブ等多様なスポーツ組織との連携											
	行政・教育機関との連携											
【その他】	民間団体(自治会、企業等)との連携											
	研究機関(大学等)との連携											
【財源の確保】	各種媒体によるコミュニケーション戦略の策定(事前準備)											
	各種媒体によるコミュニケーション戦略の実行											
【財源の確保】	講演・説明・面談によるコミュニケーション活動の実施											
	事業収入等による収益確保											
【財源の確保】	適切なクラブ会費及び参加料の設定											
	適切な支出のあり方											
【財源の確保】	協賛金・寄附金等の獲得											
	【暴力根絶の根絶】											
【その他】	総合型クラブの活動現場における暴力行為の根絶											
	【その他】											
* 運営に係る会員の理解・啓発【注1】toto助成必須】												

注1 … 総合型クラブを創設するにあたって、日本体育協会の「総合型地域スポーツクラブ創設支援事業」に申請する場合は必須条件。

注2 … 総合型クラブを設立し、日本体育協会「総合型地域スポーツクラブ自立支援事業」及び「総合型地域スポーツクラブマネージャー設置支援事業」に申請する場合は、初年度から必須条件。(3年目からは、3種目以上に渡る事業の展開が必要)

【重要】上記の「注1」~「注4」の内容は、平成25年度の各種助成事業の内容に基づき作成しております。平成26年度以降の各種助成に係る審査条件等は上記内容と異なる可能性があります。各種助成事業に応募される際は、当該年度の審査条件等を十分ご確認ください。

STEP4 今後の目標設定 ⇒ 今後のクラブにおける取り組み目標を設定しましょう

【自立・自律に向けた目標設定シート】

クラブ理念																	
設立1・2・3年目(目標 or 実績)				設立4・5年目(目標 or 実績)				設立から8年後(目標)									
就学前幼児・小学生	中・高生		高卒～30代		就学前幼児・小学生	中・高生		高卒～30代		就学前幼児・小学生	中・高生		高卒～30代				
	男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女			
40代～50代	60代以降		身障者		40代～50代	60代以降		身障者		40代～50代	60代以降		身障者				
	男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女			
(男)			(女)			合計			(男)			(女)					
20～30代	40～60代		70代以降		20～30代	40～60代		70代以降		20～30代	40～60代		70代以降				
	男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女			
会費収入			参加料収入			事業収入			会費収入			参加料収入			事業収入		
%			%			%			%			%			%		
助成金・補助金	委託事業の受託料		その他寄附・賛助金等		助成金・補助金	委託事業の受託料		その他寄附・賛助金等		助成金・補助金	委託事業の受託料		その他寄附・賛助金等				
	男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女			
選択項目	達成度	目標値	選択項目	達成度	目標値	選択項目	達成度	目標値	選択項目	達成度	目標値						
* 安定的に使用できる施設の確保【注2 toto助成必須】 * 2種目以上に渡る事業を展開【注2 toto助成必須】 * 有償クラブマネジャーの設置【注2 toto助成必須】																	
* 3種目以上に渡る事業を展開【注3 toto助成必須】 * 収入の50%以上が自主財源【注3 toto助成必須】 * 法人格の取得準備【注4 toto助成必須】																	

注3 … 総合型クラブを設立し、日本体育協会「総合型地域スポーツクラブ自立支援事業」及び「総合型地域スポーツクラブマネジャー設置支援事業」の3年度目以降に継続して申請する場合は必須条件。  
 注4 … 日本体育協会「総合型地域スポーツクラブマネジャー設置支援事業」の助成が終了後、さらに継続して、スポーツ振興センター「総合型地域スポーツクラブマネジャー設置事業」に直接申請する等の場合は、初年度から必須条件。